

心臓外科



診療科長
部長 (医療安全担当)
白神 幸太郎

専門医資格等 心臓血管外科専門医
心臓血管外科修練指導者
外科専門医
京都大学臨床教授、非常勤講師
日本胸部外科学会評議員
日本冠動脈外科学会評議員
日本心臓血管外科学会国際会員

専門分野 成人心臓大血管手術

□ スタッフ

平成28年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 長	片岡 剛	心臓血管外科専門医 外科専門医 脈管専門医	成人心臓大血管疾患	成人心臓大血管手術

□ 診療科の特徴

京都府南部地域における循環器疾患の基幹施設として機能すべく、2011年に開設。2013年までの実績により、心臓血管外科専門医認定機構より基幹施設認定を受けた。①心臓外科診療を通して人々のお役に立つ②手術や診療の透明性を確保する③循環器診療の最後の砦となる、という3つの診療指針の下、循環器内科、血管外科、救命救急科、麻酔科との緊密な連携を維持しながら安全な医療を提供するように努力している。

□ 主な対象疾患

虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞など)に対する冠動脈バイパス術
弁膜症(大動脈弁疾患、僧帽弁疾患など)に対する弁形成術や弁置換術、不整脈手術
大血管疾患(胸部大動脈瘤、急性大動脈解離など)に対する人工血管置換術

□ 診療(業務)内容

心臓大血管疾患の手術適応およびリスク評価を体系的にかつ厳密に行い、安全な手術治療を目指す。循環器内科、血管外科と共に心臓血管カンファレンスを行い、手術適応、術前リスクと治療方針の検討、周術期治療経過の報告を行い、治療の透明性を担保している。また緊急を要する症例について積極的に手術治療を行い、地域医療に貢献することを目標としている。

□ 診療実績(平成28年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
6.5名	81名	28.2日

外来患者数

1日平均患者数
5.9名

主な手術・検査の件数など(重複あり)

冠動脈バイパス術	心臓弁膜症手術	大動脈手術	ステントグラフト手術
22件	45件	7件	9件

2011年4月心臓外科開設。2011年(6月-12月)34例、2012年65例、2013年74例、2014年72例、2015年69例、2016年71例であった。単独冠動脈バイパス術17例中、16例を体外循環非使用手術、1例を体外循環使用心拍動下手術として施行した。弁膜症に対しては31例に対して治療を行った。弁形成術20例、弁置換術25例、心房細動に対するメイズ手術は9例施行し、8例が正常洞調律に復帰した。大動脈手術は解離性大動脈瘤に対して2例、うち緊急手術が1例、真性大動脈瘤に対する手術が5例であった。予定手術、緊急手術を合わせた院内死亡は1例で弓部大動脈瘤破裂に対する上行弓部大動脈置換術を施行した症例で術後慢性期のリハビリテーション中に脳梗塞を発症して失った。予定、緊急を含めた院内総死亡率は1.4%であった。冠動脈バイパス術における術後早期グラフト開存率は98.0%(48/49)であった。術後出血再開胸症例は認めなかった。術後前縦隔洞炎を3例に認めただが、全例軽快退院された。大動脈疾患に対する血管内治療(ステントグラフト留置術)については腹部大動脈瘤4例、胸部大動脈瘤5例を施行し全例軽快退院された。

□ 地域医療連携・広報活動

医師会、救急隊を通じての広報活動を行い、他院循環器内科とも積極的に協働している。院外からの手術目的紹介症例は年々増加している。

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

区分	演者・演題・学会名
研究会発表	片岡剛 白神幸太郎 坂本和久 解離性大動脈瘤破裂に対して、TEVAR+Candy Plug法によってエントリーを閉鎖し、破裂偽腔の血栓化に成功した1例 第72回京滋循環器懇話会 2016.11.5 京都
研究会発表	白神幸太郎 若い医療人へのメッセージ 倉敷中央病院心臓血管外科研修会 2017.2.15 倉敷
研究会発表	白神幸太郎 片岡剛 開心術後心房細動に対する取り組み 第14回京阪心外懇話会 2017.1.28 大阪
国内学会	白神幸太郎 院内死亡症例の把握と原因分析 第70回国立病院総合医学会 2016.11.11 沖縄
国内学会	白神幸太郎 オカレンスを活かす 第70回国立病院総合医学会 2016.11.11 沖縄
国内学会	柿本由美子、白神幸太郎 インシデントレポートシステム導入の効果と応用 第70回国立病院総合医学会 2016.11.11 沖縄
国内学会	山崎茂 白神幸太郎 院内暴力から職員を守る-院内暴力の実態とホワイトコードコール 第70回国立病院総合医学会 2016.11.11 沖縄

□ 投稿論文など

著書・雑誌名	著者・タイトル
これが伏見流、心房細動の診かた、全力でわかりやすく教えます。	赤尾昌治 阿部充 安珍守 井口守丈 石井充 大谷良 小川尚 片岡剛 岸本周子 小宮山麻紀 品川智子 白神幸太郎 中島康代 長谷川浩二 畑啓昭 福田俊一 益永信豊 和田啓道 AFの外科治療 2017.3;151-153
これが伏見流、心房細動の診かた、全力でわかりやすく教えます。	赤尾昌治 阿部充 安珍守 井口守丈 石井充 大谷良 小川尚 片岡剛 岸本周子 小宮山麻紀 品川智子 白神幸太郎 中島康代 長谷川浩二 畑啓昭 福田俊一 益永信豊 和田啓道 開心術後のAF戦い 2017.3;209-210
Circulation Journal	Shinichi Shirai, Kotaro Shiraga et al. Five-Year Clinical Outcome of Asymptomatic vs. Symptomatic Severe Aortic Stenosis After Aortic Valve Replacement 2017.3;81(4):485-494